

平成 29 年度 学校経営の構想

茨城県学校教育指導方針
 一人一人が輝く活力ある学校づくり
 ○学校の創意工夫を生かした特色ある教育活動の推進
 ○自主性・自立性を育む教育の推進
 ○地域とともにある学校づくりの推進

教育目標（中期目標）
 豊かな心を持ち 意欲的に学び考える 心身ともにたくましい児童の育成

ひたちなか市教育目標
 夢・感動・笑顔がひろがる
 教育のまち ひたちなか
 キーワード：夢・感動・笑顔

＜教育の指針＞ **夢をはぐくみ ともに歩む**

目指す学校像
 ○児童にとって夢と感動のある学校
 ○教職員が協働し誇りに思う学校
 ○保護者・地域とともに歩み信頼される学校

目指す児童像
 ○すすんで 取り組む子
 ○よく考えて やりとげる子
 ○素直で 思いやりのある子

目指す教師像
 ○意欲をもち、学び続ける教師
 ○子どもの気持ちを理解できる教師
 ○明るく積極的な教師

児童の実態

H28 学力診断テストより（県平均との比較）
 現5学年 国語 +2.6 算数 +7.2
 現6学年 国語 -5.2 算数 -6.7
 ・問題文を読む力が不足している
 ・現6年生の算数については基礎基本の内容の定着が課題

H28 アンケート結果より
 ・あいさつができる・・・90.0%
 ・いじめをしない・・・99.3%
 ・学校が楽しい・・・85.0%
 ・Q-U学級生活満足群 H28
 6月 65.3% →11月 69.4%
 ・自己有用感の高揚が課題

・ 県体力テスト A+B
 H27 : 62.8% H28 : 57.9%
 ・ 30日以上欠席 H27:4名 H28:4名
 ・ う歯治療率 H28 : 59.7%
 ・ 基本的な生活習慣の確立が課題

組織目標：キャリア教育を視点とした教育活動の実践

得意ダネ 学び

目標
 学習意欲を高め、学力の向上をめざす
 ・県学力診断テストの県平均正答率との差、前年度対自校比2ポイントアップ

重点施策
 ○ユニバーサルデザインの考えを取り入れた、だれもが分かる、できる授業の構築
 ○基礎的・基本的な知識・技能の習得
 ○主体的で対話的な学びになるような指導方法及び指導体制の工夫
 ○特別支援教育における個別の学習支援の充実
 ○漢字力・計算力テスト合格者 80%
 ○家庭学習目標時間達成者 80%
 ○授業が分かるようになり学習内容が身についたと思える児童 70%
 ○読書 50冊達成 100%

感動ダネ 心

目標
 自他を大切にして、豊かな人間関係をはぐくむ
 ・Q-Uテストにおける学級生活満足群の増加
 ・一人一人の自己有用感の向上

重点施策
 ○道徳の教科化に向け授業の充実に努める。
 ○たてわり班活動をはじめとする特別活動の活性化を図る。
 ○Q-Uテストの分析結果を活用しよりよい学級集団の育成に努める。
 ○自らあいさつができる児童 90%
 ○いじめをしない児童 100%
 ○学校が楽しいと感じる児童 100%

元気ダネ 体

目標
 基本的な生活習慣を確立し、健康と体力をはぐくむ
 ・自己の健康管理能力を高める
 ・体力テスト A+B>63%
 ※個別目標を立て挑戦し続ける児童の育成

重点施策
 ○体力向上のための補強運動
 ○元気タイムの充実
 ○交通事故 0
 ・定期的な交通安全指導
 ・自転車乗車時ヘルメット着用
 ○う歯治療率 60%以上
 ・委員会活動・保健だよりの活用
 ・歯磨き指導
 ○朝食を毎日食べる児童 100%
 ・生活リズムカードの活用
 ○不登校児童を出さない